

正副2部提出

相続税の納税猶予に関する適格者証明書

証明願

伊丹市農業委員会長 殿

令和〇年〇月〇日

農地等

提出時に提出日を記入

連絡先（電話）

伊丹 太郎

072-783-12

被相続人の死亡日

づき、被相続人及び私が租税特別措置法第70条の6第1項の規定の適用するための

認印で可（※相続登記未了の場合は被相続人の実印を押印）

1. 被相続人に関する事項

住所	伊丹市〇〇1丁目2-3		氏名	伊丹 耕一郎	職業	農業
相続開始年月日	令和〇年〇月〇日		農地等の生前一括贈与を受けていた場合		年月日	
被相続人の所有面積	耕作農地	2,380 m ²	被相続人が耕作していた農地の面積（市外と借入地を含み、貸付地は除く）			
	採草放牧地	m ²	被相続人の農業経営			
	合計	2,380 m ²	でない場合	農業経営者と被相続人の同居・別居	同居・別居	
営農困難時貸付け又は認定都市農地貸付け等を行っていた者である場合	分類	営農困難時貸付け・認定都市農地貸付け・農園用地貸付け	貸付年月日		年月日	
		貸付先の農業経営者又は市民農園開設者の氏名又は名称				

2. 農地等の相続人に関する事項

(1) 農地等の相続人

住所	伊丹市〇〇1丁目2-3		氏名	伊丹 太郎	職業	会社員兼農業
生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日	被相続人との続柄	子	相続開始の時における被相続人との同居・別居の別	同居別居	有無
特例の適用を受けようとする農地等の明細		別表のとおり		左記の農地等による農業経営の開始年月日等		〇年〇月〇日
今後引き続き農業経営を行うことに関する事項 (営農困難時貸付け又は認定都市農地貸付け等に関する事項)		今後も引き続き農業経営を行います。 (現在、〇〇貸付けを行っています。)				
身体若しくは精神の障がい又は老人ホーム等への入所の有無	有・無	その他参考事項	〇〇市 田畠の合計面積 1,000m ²			

(2) 農地等の相続人の推定相続人（生前一括贈与を受けていた農地等について）

住所				他市町村でも納税猶予を受ける場合、市町村名と田畠の合計面積を記入。
生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日	相続人との続柄	とおり	年月日
使用	推定相続人の該当者がいない場合は、斜線を入れてください。	とおり	とおり	年月日
今後引続き推定相続人が農業経営を行うことに関する事項		相続人が農業経営する農業に従事していることに関する事項		年月日

伊農委証第

号

上記の証明願のとおり、被相続人及び農地等の相続人は

租税特別措置法第70条

令和

記入不要（農業委員会記入欄）

印

記入例

特例適用農地等の明細書

相続税の納税猶予の特例の適用を受ける者	住所	伊丹市〇〇1丁目2-3		※3年毎の継続届出書の整理欄					
	氏名	伊丹 太郎							
相続開始年月日	令和〇年〇月〇日		1回目	2回目	3回目	4回目			
農地等の生前一括贈与をしていた場合には、 被相続人の死亡日	年 月 日		・・	・・	・・	・・			
特例適用農地等の明細									
番号	田、畠、 採草放牧地又 は準農地の別	登記簿 上 の 地 目	所 在 場 所	市街化 区域内外の別	當農困 難時貸 付農地 等	認定都 市農地 貸付農 地	農園用 地貸付 農地	面 積 (m ²)	※譲渡等、耕作の 放棄又は買取り の申出等についての整理欄
					該当する場合に○				
1	田	田	伊丹市 千僧1丁目番地	内				1,000	この欄には記入しないでください。
2			伊丹市	内					
3			伊丹市	太線内は、 ① 現在「當農困難時貸付け」「認定都市農地貸付け」「農園用地貸付け」を行っている農地には「〇」を。 ② 貸付けを行う予定の農地には「予」と記入してください。					
4			伊丹市						
5			伊丹市						
6			伊丹市	内					
7			伊丹市	内					
8			伊丹市	内					
9			伊丹市	内					
10			伊丹市	内					
合 計									

※の付いている欄は記入しないでください。